

「ジェンダーとテレビCM」

ウィルあいち交流ネット参加グループ

定年退職して在宅時間が増え、テレビの前に居座ることが増えた。手抜きドラマやバラエティより民放はCMが面白い、と思う。最近の傑作は、東洋水産「マルちゃん正麺」だ。休日なのだろう、家でくつろぐ男優・役所広司演じる夫が妻と娘に「昼はちゃちゃっと俺がつくる」と宣言する。フライパンで野菜をさっと炒め、ゆでたインスタント麺に載せれば、美味しいラーメンが出来上がる。

ここでのポイントは「ちゃちゃっと」だ。男の手料理といえば、材料にこだわった、手の込んだものを連想する人もいるが、妻が期待するのは、冷蔵庫の残り物を片付けてくれ、素早く食卓に並ぶお手軽な献立だろう。いつものようにずっと台所に立つ、男性の腰の軽さが「ちゃちゃっと」の語感に込められている。

役所広司のCMには別バージョンがある。男性のための料理教室なのか、三角巾にエプロン姿の男性たちを前に、講師役の役所が「昼はちゃちゃっと俺がつくる」と発すると、全員が同じ言葉を繰り返す。つまり、習うのは料理の技ではなく、作り手の気持ちなのだ。

『私作る人、僕食べる人』（ハウス食品工業、1975年放送）が問題視され、男女の役割を決めつけるCMは消えた。だが、グレーゾーンと思えるものは今も散見する。例えば女優・壇れいを起用したサントリーの発泡酒「金麦」のシリーズ（2017年～2019年）である。活発で可愛い女性が登場、手料理で相手をもてなす。「今夜は鍋だよ」と壇が語りかけるのは誰なのだろうか。一緒に食べるのは夫なのか、恋人なのか、男性であることは間違いなさそう。役所広司のCMを見て私は、20年前のことを懐かしく思う。



ウィルあいちの開館（1996年）と同時に「男性のための自立講座」が開講した。料理スタジオを活用して、男性専科の教室も始まり、私はその第一期生となった。男性専科の受講生を主体に自主活動グループ「メンズリブ名古屋」を結成、その運営に参加した。数多くのレシピとともに活動で得た体験は今、とても役立っている。

（メンズリブ名古屋代表）鈴木 善太郎

- *さわらび会
 - *メンズリブ名古屋
 - *女性学'98の会
 - *グループ・キートス
 - *ウィル2000
 - *ウィルD○2002
 - *サーティネット '05
 - *ベリーズ18
 - *Step07
 - *Fem.'09
 - *Amelie'10
 - *AIC25
 - *ウィルウィル14
 - *ひかるよ15
 - *カクラカクラ '16
 - *そだね2017
 - *Hey Say Final
- （設立順）

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講修了生による自主活動グループで組織された団体です。



「女性活躍加速のための重点方針2020」

(令和2年7月1日すべての女性が輝く社会づくり本部決定)

◆新型コロナウイルス感染症拡大による女性への深刻な影響及び女性活躍の新たな可能性への対応

基本的な考え方

- 女性に対する暴力の根絶に向けた取組や困難に直面する女性への支援の充実
- 地域の実情に応じた取組の後押し
- 仕事と育児・介護等を両立環境の整備及び意識改革の推進
- あらゆる施策への男女共同参画の視点の反映

I 安全・安心な暮らしの実現

●女性に対するあらゆる暴力の根絶

「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」に基づく取組の強化（刑事法に関する検討、再犯防止、ワンストップ支援センターの強化、教育・啓発等）、DV相談プラスの実施や民間シェルター等の先進的取組の支援

●困難を抱える女性への支援

非正規雇用労働者など困難に直面する女性への支援、ひとり親に対する支援体制の強化や就労支援、養育費の履行確保に向けた取組、予期せぬ妊娠等による若年妊婦等への相談支援、新型コロナウイルス感染症の影響の調査・分析

●生涯を通じた女性の健康支援の強化

ライフステージに応じた健康保持の促進、妊娠・出産等に関する相談支援や不妊治療に対する支援

●スポーツ参加の促進やスポーツ分野における男女共同参画の推進

女性の運動・スポーツへの参加促進に向けたコンソーシアムの設置、女子生徒が健康に運動部活動を実施するための顧問や養護教諭等との連携・協力の促進、女性アスリートのセカンドキャリア支援

●男女共同参画の視点からの防災・復興の取組

「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」に基づく地方公共団体の取組の更なる促進、男女共同参画センターの災害対応におけるネットワーク拡大に向けた支援

II あらゆる分野における女性の活躍

●男性の暮らし方・意識の変革

配偶者の出産直後の時期の休業を推進する枠組みの検討など企業や国・地方公共団体における男性の育児休業等の取得促進、男性の家事・育児等への参画に向けた国民の意識の醸成

●女性活躍に資する多様な働き方の推進

テレワークの推進、女性活躍推進法に基づく中小企業への行動計画の策定等に関する支援やブラチナえるぼし認定の取得促進、職場におけるハラスメント対策、女性の学び直しや就業ニーズの実現

●地域における女性活躍の推進

地方公共団体が行う地域の実情に応じた取組への地域女性活躍推進交付金による支援、都道府県における官民連携型のプラットフォームの設置・活用促進を通じた女性等の新規就業支援、地域特性の見える化等を通じた各地方公共団体の取組の促進

●あらゆる分野における女性の参画

女性の政治参画の状況や環境整備に関する調査・情報提供、理工系女性人材の育成や女性研究者の活躍促進、登用状況の周知や情報開示の促進・コーポレートガバナンスの改善に向けた検討等を通じた企業における女性役員登用・育成の推進

III 女性活躍のための基盤整備

- 国際的な協調及び貢献
- 性別にとらわれず多様な選択を可能とするための意識改革、理解の促進
- 子育て、介護基盤の整備
- 女性活躍の視点に立った制度等の整備

編集後記：コロナに負けず頑張りましょう。

編集発行：ウィルあいち交流ネット

内閣府男女共同参画局 共同参画2020年8月号
を基に財団作成